

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○地域と利用者との交流はできなかったが、地域貢献という形で、物販の協力をしたりしていた。 ○地域という言葉を広く見た時に、大学や研修機関からの実習生を受け入れたりと貢献はできている。 ○理念の唱和、カンファレンスを行い、馥郁としての認知症への理解や支援の共有はできている。 ○運営推進会議での情報発信はできているが、日常的な交流まではできていない。 ○地域交流は、感染対策上難しい現状にあった。	感染対策による制限の中、介護・看護実習生の受入れや地域の物販への協力など出来ることは行っている。今後は、感染対策の見直しを検討していくことで、地域交流を少しずつ増やせていくように取り組んでいきたいと思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○対面開催が出来るようになって、取組みの状況等についての報告はできている。 ○運営推進会議の目的や意義は浸透しており、率直な意見を頂き、参考にしてミーティング等で検討している。 ○運営推進会議の結果報告が十分に把握できていないこともあった。	対面開催によるせつかくの機会です。従業員の皆さんの出席もあつたら、顔を繋げる機会にもなりますし、会の内容も職員間の共有も今までよりも上手くいかと思います。運営推進会議の質の向上に役立てていきたいと思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○市町村担当者和との連絡を直接受けている訳ではないが、回覧で情報は共有する機会ができています。 ○運営推進会議録を市町村へ提出することでの報告はできていると思われる。 ○積極的な行政との関係づくりとまではいっていないと思う。	行政機関が関わることによって、事業所の実情や日々の取組みを把握できているので、対象者の紹介や社会資源としてのサービスとしての情報提供に役立っています。今後も良好な関係性を築いていきたいと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○年2回の身体拘束の法定研修に取り組んでいる。 ○勉強会を開催したり、職員同士で情報共有を行い取り組んでいる。 ○時間帯による玄関施錠を見直すことが必要である。(安全確保を最優先とした取り組みとして)		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 施錠については、夜勤の時間帯に限定。しかし、人員配置により、やむを得ない場合もあるが、職員間で協力を行うことで、拘束をしない取り組みを徹底していく。 身体拘束適正化委員会を令和6年度から開催し、ケアの向上に努めていく。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○定期的な勉強会を開催し、質の向上に努めている。 ○研修に参加することで自己研鑽できている。 ○スタッフ同士で意見を出し合いながら、ケアを見直し、お互いの言葉かけにも注意を払っている。 ○勉強会で常に学習しているにもかかわらずたまに強い口調で話をしてしまう。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 定期的な研修会への参加が見られる。年齢や家庭の状況では、参加できない職員もいる中で、伝達講習を行ったりしている。多くの学びを入居者様へのケアに活かしていきましょう。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○管理者やケアマネが実施している。 ○家族の方がいつでもでも要望を等と言えるような連携の取組みをしている。職員も共有できている。 ○会えない家族にも電話や文書での報告が実施できている。 ○要望等は管理者が取りまとめ責任者や職員へ報告できている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 面会の機会や定期的報告で、家族とのやり取りはできている。HP や季刊誌などでの情報の発信。今後はアンケートの実施も検討していきましょう。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○定期的な事業所内勉強会や外部研修を積極的に設け、向上心に繋げている。 ○処遇改善の見直し等、働きやすい環境改善を図ってくれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 職員に対して、処遇改善の見直しを図る等の働きやすい環境づくりに取り組んでいる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○外部研修(ZOOM)等の開催を定期的に発信してくれている。 ○資格取得を目指すことの大切さを学んでいる。 ○認知症研修の段階をおった学びの機会がある事を理解できた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 有資格者の数も多く、努力が見えている。全員が研修は参加できないまでも、職員が学ぶ姿勢をころからも育む環境を作っていくて欲しい。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○面会制限下であるが、15分の面会を継続出来ている。 ○外出による馴染み関係の交流はできないが、来所による交流はできている。 ○ご家族との外出(必要時)、面会が柔軟に出来るようになってきている。 ○気軽に面会できるように心がけた。 ○入所前の情報収集により、ご本人の望まれる形を実現するよう取り組み、必要ならば時間をかけて良好な関係性の構築に努めてきた。 ○面会や外出の制限があるため不自由さがある。	制限下の中、面会を工夫され、家族との関係を大切にしている様子が伺えます。家族の中からは、面会で直接会えることが嬉しいという言葉も聞いています。引き続き、家族とのつながりを絶やさない、信頼関係作りに取り組んでいきましょう。		

				○誰かに会いたい、どこどこに行きたいとの気持ちは把握出来ているが、コロナやインフルエンザの影響もあり、十分な支援に繋がらない。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○本人の意見や家族からの情報、医師からの指導など踏まえた上で、どのようなケアがいいかいつも話し合いができています。 ○カンファレンスが開催され、意見交換が出来ている。 ○介護計画への最新のニーズがないかを毎月話し合いが行われている。 ○利用者によって話し合いの頻度にバラつきがあるかも知れない。	関係者との定期的なカンファレンスを行い、スタッフ全員で情報を共有する取り組みが見られています。家族への情報提供の在り方にも工夫がみられることから引き続き、現状に即した介護計画を作成するために取り組んでいきましょう。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 今後は、訪問看護ステーションとの会議も増やしたり、より家族との面談の機会を大切にしながら計画作成に取り組んでいきましょう。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○申し送りノートや朝夕の申し送り、ヒヤリハットレポートの提出による事故防止に努めることができた。 ○定期的なカンファレンスで問題の共有を図ることができた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 職員間の情報の共有をしっかりと意識しているので、引き続き、記録やカンファレンスを通して共有に努めて行きましょう。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○気づきがあれば、皆で共有し、サービスを具体化するようになってきている。 ○できるだけ、本人や家族と会話が取れるように、取り組んできた。 ○柔軟な対応なのか、自分自身に不安がある。	家族と対話をする事情報収集やでニーズの発見に繋がっていると思います。家族との対話の際には、サービスの評価や振り返りを行いながら、柔軟は支援に取り組んでいきましょう。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○地域にどんな社会資源があるのかを常に意識しながら情報収集を行ってきている。 ○避難確保計画を行う際は、避難所を実際に利用して確認に努めている。 ○本人の力の活用という面での課題が残っている。	運営推進会議の場も社会資源を共有する場でもあります。地域の現状と事業所のニーズを照らし合わせながら、少しずつ地域参加ができるように検討していきましょう。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○安心できるよう本人家族の方へ十分な説明を行い病院へ相談を行うことでの関係作りを行っている。 ○訪問看護との日頃からの連携により、病院関係者との関係作りにはなっている。 ○往診時だけでなく、異常時など適時、病院関係者へ報告することで連携を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 利用者様が適切な治療が受けられるように情報交換や関係作りができています。

		備えて病院関係者との関係づくりを行っている。					
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○重度化指針を入所前に本人家族と共有できているが定期的な見直しや確認も必要である。 ○重度化指針の整備はなされていることから、訪問看護との連携が図れている。 ○医療ニーズが必要となった方へは、主治医・連携室と相談しながら入退院調整ができています。 ○運営推進会議を活用しながら、地域支援に取り組む必要がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 入所時の契約の場において、人生最終段階の意思決定について聴き取っていることから、定期的な意向の確認を実施する上で本人・家族とのコミュニケーションの機会を増やしていきましょう。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○避難訓練を定期的に行い、参加できなかった職員には書面での確認も行った。 ○防災マニュアルの作成や訓練が定期的に行われている。 ○訓練は実施できているが、全職員の技術獲得という面ではバラつきがある。(出勤体制が理由)	避難訓練は当日の出勤者による訓練だけでは、一人ひとりの技術量に差が出てしまい兼ねません。訓練の在り方も図上訓練等も取り入れながら、全職員が対応できるように取り組んでいきましょう。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 定期的な計画のもと、訓練はしっかりと実施できている。訓練の機会を大切にしながら、非常時のスムーズな対応に繋げて下さい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○傾聴、受容、共感のもと対応に努めるように取り組んでいる。 ○自ら「です。ます。」口調で話すように心がけている。 ○言葉遣いは振り返ると反省が多いので改善していかなければならない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 振り返りで気付くことは重要ですが、そのことを行動変容として変えていくことが大切です。コミュニケーション力を高める研鑽の機会を取り入れていきましょう。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○嗜好(アレルギー含む)等、利用者に合わせて提供するように取り組んでいる。 ○一緒にする食事には制限があるが、取り組める機会は作れるようになった。 ○病院の管理栄養士との連携を図りながら、食事形態や内容についても情報共有の場が作れるようになった。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 病院の管理栄養士との連携を図りながら、利用者の食事形態や内容を考える取り組みや、利用者ができることを取り組む機会の提供は継続していきましょう。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○義歯の洗浄、自歯のある方は仕上げ磨きを行い口腔ケアを行った。 ○できるだけ自立性を尊重しながら、義歯の方は、		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 誤嚥性肺炎予防に対する取り組みとしての口腔ケアや歯科医師との連携が出来ている。

				<p>専用のブラシを使うなど対応ができています。また、自立でされる方も実施後の磨き残しがないかなどチェックを行っている。</p> <p>○必要な方へは、歯科医の往診を依頼するなど口腔状態の維持に努めている。</p>			
31	排泄の自立支援	<p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>○排泄記録の共有を常に行い、適切な対応ができるように心がけている。</p> <p>○個々に定時の声かけ、汚染時の交換等、清潔保持に努めるようにしている。</p> <p>○排便コントロールは難しいので、職員間で情報の共有を行いながら実施している。</p> <p>○人員配置の状況で、定時の対応が遅れてしまい自分たちの時間で対応してしまうことがあった。</p>		<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p><運営推進会議></p> <p>排便コントロールに苦慮されながらも職員間での情報の共有を行いながら、個々の対応を実践できている。しかし、時折、自分たちの主体的な対応になってしまっているため、業務の見直しを視野に入れながら取り組んでいきたいと思います。</p>
34	服薬支援	<p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>○薬に変更があった場合は、変化がないか注意深く、見守りを行っている。</p> <p>○情報共有ノート等を使い、服薬内容については理解に努めるようにしている。</p> <p>○薬の副作用をまだまだ把握ができていなかった。</p>		<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p><運営推進会議></p> <p>薬の副作用の把握においても、職員間での共有を図りながら安全な服薬管理に向けて取り組んでいきたいと思います。</p>
35	役割、楽しみごとの支援	<p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>○お盆拭きや野菜の下ごしらえなど、掃除も一緒にする役割作りに取り組んだ。</p> <p>○一日通して、できる時に余暇活動を計画。共同作品製作への参加も提案している。</p> <p>○一人一人にあった役割を分担し、残存機能を活かせるように支援している。また、年行事や祝事等、散歩など当たり前の日常に心がけた。</p> <p>○レクリエーションは出来ているが、個別という面では課題がある。</p> <p>○満足度の把握が出来ていない。</p>	<p>グループレクリエーションだけでなく、一人ひとりの特技等を活かした取り組みも実践しています。今後も役割や楽しみを持つ支援を計画していきましょう。</p>		
36	日常的な外出支援	<p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>○天気や本人の体調に応じて近隣の散歩を行っている。職員で対応が出来ないことは家族に依頼している。</p> <p>○インフルエンザ・コロナウイルスがまだまだ流行中で以前のような外出は出来ていない。</p> <p>○ストレス軽減のために戸外へ(散歩)誘っている。しかし、季節ごとの遠出はない。</p>	<p>家族の来所や地域の方々の出入り等はまだまだ制限が掛かっていますが、家族との時間を大切にする取り組み(外出支援)は、考えていく余地はあるかと思っています。これからの外出や催事についての検討をお願いします。</p>		

				○ケースバイケースであるが、家族とのドライブも十分にはできていない。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○季節に合わせた飾りつけを行い、季節感を感じれるように取り組んだ。 ○利用者の参加を促しながら、少しずつではあるができています。 ○個室であることから、それぞれのプライバシーが守られている。デイルームも明るく、清潔な印象をもってもらえるように飾り付け等をしている。 ○気の合う方々と隣同士を検討したり、四季の壁飾りなど、居心地よく過ごしていただけるように心がけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 利用者を楽しませようとする取り組みが多く見られている。利用者同士の関係性にも配慮しながら、トラブルを未然に回避したり、工夫したりする努力を今後も続けて行きたいと思います。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
42	本人主体の暮らし	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○医療機関と連携を執り行っており、また環境整備にも努めている。 ○定期的な訪問看護との連携を図ったりすることで常に健康を最優先に実施できている。 ○カンファレンスを開くことで、サービスの標準化を図る取り組みができています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 定期的な医療連携の機会が確認できている。健康面・安全面を最優先にしたケアの実践を続けて行きたいと思います。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・環境の変化には注意をしつつ、馴染みなもの安心できるものを設置することで安寧を図っている。 ・ご家族の写真を飾ったり、慣れ親しんだものを飾ることにより、自分らしさを尊重できるように取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<運営推進会議> 認知症の理解を踏まえた環境の変化の重要性の理解と自分らしさへの尊重が出来ている。
45	生活の継続性	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○時間をみて散歩への声かけを実施できている。 ○催事には参加出来ているが、一般的な外出はできていない。 ○事業所内の感染対策で決められたことのみ実施できている。 ○自分の意向という面では十分ではない。	家族の来所や地域の方々の出入り等はまだまだ制限が掛かっていますが、家族との時間を大切にする取り組み(外出支援)は、考えてをいく余地はあるかと思えます。これからの外出や催事についての検討をお願いします。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○散歩の際に、近隣の方々との挨拶は出来ているが、交流とまではしていない。 ○制限下での面会は自由が効かない。 ○本人自らという積極性は課題が残る。			

47		<p>本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている。</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>○毎日の活動を通して、出来ることは自分でしてもらっており、役割、生きがい作りに取り組んでいる。 ○本人の表情を見ながら常に、満足かどうかを確認している。</p>	/	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p><運営推進会議> 認知症は不安を取り除く支援です。家族への情報提供の在り方を現在も続けていますが、1回/月(月次報告)1回/2ヶ月(機関紙)というように頻度も少ないです。BLOGを開設することで毎日の何気ない日々の報告などができたら、家族もより安心して過ごせる可能性はあることから年度末に開催されるアンケートも踏まえた上で、検討していきましょう。</p>
48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている。</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>○散歩の際に、近隣の方々との挨拶は出来ているが、交流とまではいっていない。 ○制限下での面会は自由が効かない。 ○本人自らという積極性は課題が残る。</p>	<p>自からの特技等、良さを掘り起こすことによって役割が見いだせると思います。地域でもその役割が活用できないかなど、役割がもてる取り組みを続けていきましょう。</p>	/	/
49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている。</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>○毎日の活動を通して、出来ることは自分でしてもらっており、役割、生きがい作りに取り組んでいる。 ○本人の表情を見ながら常に、満足かどうかを確認している。</p>	<p>認知症は不安を取り除く支援です。家族への情報提供の在り方を現在も続けていますが、1回/月(月次報告)1回/2ヶ月(機関紙)というように頻度も少ないです。BLOGを開設することで毎日の何気ない日々の報告などができたら、家族もより安心して過ごせる可能性はあることから年度末に開催されるアンケートも踏まえた上で、検討していきましょう。</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p><運営推進会議> 職員配置等によっては、十分な配慮ができないことがあるとの振り返りができていることから、その振り返りもケアの形にして、皆様が安心して、その人らしく過ごせる日々ために取り組んでいきましょう。</p>

(参考様式4)

事業所名

グループホーム馥郁

目標達成計画

作成日

令和 6 年 2 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17 23	重度化や終末期に向けた取り組みの話し合いの充実が必要。	ACPを用いた本人・家族との意思確認を共有することができる。	①入所時の医療支援の意思確認を行う。 ②人生会議の開催の計画。	12 ヶ月
2	2 45	地域交流や外出機会の減少が続いている。	地域施設としての役割の認知や連携における地域活動への参加の機会を作ることができる。	①運営推進会議に対しての課題の提供や情報収集に努める。 ②地域行事や地域活動・外出活動への参加を促進する。	12 ヶ月
3	6 12	研修機会はあるものの、参加にはバラつきが見られる。研修参加や伝達の工夫を行うことでの学びの機会の充実が必要。	学びの機会を提供することで、利用者への高品質のケア及び職員を育てる環境を改善する。	①伝達講習の充実を図る。 ②職員の成長段階に合わせた研修計画を作成する。	12 ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。